

看護情報学 特論 I

ニューロサイエンス看護学
修士論文コース

酒井宏美 21MN016

自己紹介

2008～急性期病院で看護師として勤務

2015～脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として勤務

2021～退職し、進学

受講して 考えたこと

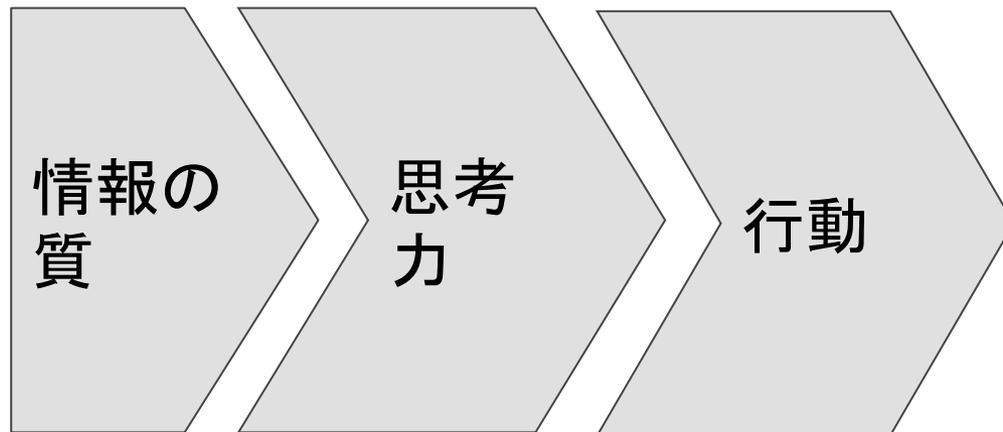
日本人はヘルスリテラシー
が低い。患者、家族、自分
...。社会やメディアは...

意思決定支援は、
双方の協力が大切

からだ・心・社会面で
健康になるために...

情報を活かすためには

私が考えたこと



キーワード は思考力

- 能動的に情報を得て活用しないと、受動的な情報だけでは思考力は養われない
- 受動的でも、情報に満足することは可能であり、それが落とし穴なのは。
- なぜなら、ますます思考することがなくなり、単純化されたうわべだけの情報しかなくなっていく
- そして受動的な情報は、記憶に残らない...



そして、こんな考えに

- 大衆向けの平坦な情報に囲まれ、思考力がなくても得られる満足と、
- 多様な情報を得て（時に困難を感じたり、ストレスを感じることもあっても）、自ら意思決定していくこと、

どちらを取るか？

どんな人生に
したいか、とい
う意思決定！

一つ、^{比喩} のお話



哲学者プラトン 洞窟の比喩

イラストは、
Wikipediaより

自分がテレビやインターネット
を通して見ている世界は、本物
だろうか？

本当の世界を知るために、
今いる環境から脱して、
洞窟の外に出ることが必要では
ないだろうか...。行動！！

最後に

「ヘルスリテラシーと健康生成力に関するWeb調査」に答えてみた

■ **ヘルスリテラシー**
情報を「入手し」「理解し」「行動」に決められる」

「健康を決める力」個人の能力

■ **SOC : sense of coherence**

「何が起こっても理解できる」
「何事にも意味がある」

「健康をつくる力」自分や周囲のストレスなどの困難や課題に対

今回のヘルスリテラシーの結果

今回の回答日: 2021年06月16日

得点

全国平均	あなたの得点
24.6 点	26 点

順位

全国	40 位 / 100人中
女性	43 位 / 100人中
30代	34 位 / 100人中

今回のSOCの結果

今回の回答日: 2021年06月16日

得点

全国平均	あなたの得点
59.0 点	40 点

順位

全国	95 位 / 100人中
女性	94 位 / 100人中
30代	92 位 / 100人中

まとめ

情報社会で生活して
いくために、思考力
を鍛える。考えたら
行動していく！

ご清聴ありがとうございました。

これからもよろしくお願いいたします！